



課題研究発表会で学んだこと

3年7組 兼子欣之

模試、入試、就職活動、行事…。

目が回る程忙しかった1年の中で中央高校総合学科の伝統行事、課題研究は進められてきました。

自分達が何かの瀬戸際に立たされた時に思い返すのは、同じ困難に立ち向かい乗り越えてきた先輩の姿。2年前、今の私達と同じ3年次生だった先輩の、ステージの上に立った凛々しい姿、完成度の高い研究に、感動し、興奮した事を鮮明に思い出しました。

先輩の見様見真似で始めた研究も、自分の体を動かし、手で探ることで、いつしか自分のものになっていました。

何度も発表を重ね、各系列毎に代表者が決まると、各々の研究をしていた者が代表者のサポートに付き、1人の研究が皆の研究に変わったことが、より深い研究に繋がりました。

12月22日、何度もリハーサルを重ねた代表者の姿は、凛々しく逞しかった事を覚えています。

課題研究を1年間通して私達が学んだことは多く、発表会の成功は大きな自信という、かけがえのない宝物になったのではないのでしょうか。

卒業生諸君へ

校長 山田陽介



卒業とは、自立することです。自分が一人の人格として完成をめざす独立した存在であり、その言動には責任があるということを実感することです。たとえ経済的に自立していても、それはそれで、精神的自立と経済的な依存とが並立している時代・年齢というものがあります。

現代の日本社会は奇妙なようすをしています。幼稚な大人のなんと多いことか。まさか子どもの少なさを大人が幼稚化することで補っているわけではないでしょう。

幕末、越前福井の藩士であった橋本左内は、15歳の時のノートに「稚心を去れ」と書きました。会津の少年たちは「ならぬことはならぬものです(仕の掟)」と教わりました。左内の師であった緒方洪庵は「病人を診るのだ」と、士農工商の身分を問いませんでした。当時はそうした気骨や精神性、向上心が日常生活の中で生きていましたし、社会の雰囲気として存在していました。

いま、日本を支えているものは何でしょう。国際社会は厳しさを増す一方です。漂う日本を正しく導いていくのは、高い見識を持ち自立した若者たちです。卒業する君たちに心から期待するゆえんです。



心構え
生徒会長 三年三組
鈴木 公士
この鶴岡中央高校を

あと少しで卒業すると
思うと、少し寂しく思います。時がゆっ
くり過ぎたらいいのと思っても、それ
に関係なくどんどん過ぎていきます。残
り少ないわずかな時間の中で、どのよう
に過ごしていくかが重要だと思います。
進路がまだ決まっていない人はもちろ
んのこと、決まった人でもそれぞれの目
標を持ち、たるまないようにしなければ
いけないのだと思います。
将来のことを考え、今から準備をす
るという意識でこれからを過ごし、社会
人になってもすぐに対応できるようにし
ていきたいです。



卒業おめでとう
三年次主任
藤井 健司
卒業おめでとうござ

います。本校では、担
任として二回・年次主任として二回の
合計四回目の卒業生を出すこととなり
ました。開校から十三年、以前保護者
として初めてお会いした方と、下のお子
さんが入学してまたPTAとしてお世
話になることがあります。その中には、
三人のお子さんが中央高校に入学した
方もいらつしやいました。中央高校もい
よいよセカンドステージですが、それを支
えるのも保護者の方のサポートが欠かせ
ません。そのような意味で、年々、年
次PTAへの参加率が高くなっているこ
とは、うれしいかぎりです。

さて、生徒の皆さんの多くは、これか
ら親元を離れて生活をすることになるの
でしょう。今までは、弁当のことや学校
への送迎など、様々な面で保護者の方の
支えがあったと思います。その支えに対
する感謝の気持ちをぜひ忘れないでほし
いものです。
この三年間の中央高校での学習や部
活動などの様々な活動で得た自信を、
これからの未来に進む礎にしてください。



**ありがとう
ございました**
三年一組担任
滝川 美穂
三年前、卒業生を送り

出し、心にボツカリ穴が開いてしまった様な寂
しさを感じていた時に皆さんと出会いました。
入学式の翌日にはその穴は塞がったような気
が。笑ったり、怒ったり、叱ったり、怒鳴ったり：
あれ？同じですね(笑)おかげさまで、元気が
つぱい、パワー全開で充実した日々を送るこ
ができました。さらに若返ったような気がし
ます。この三年間、不可能を可能にしてきた
皆さんですから、困難が待ち受けようともき
つと乗り越え、素晴らしい人生を歩んでいけ
ると思います。どんな小さなことでもか
まいませんから、これだけは誰にも負けない
「ナンバーワン」というものを持って、自信
に満ちた毎日を送ってください。



**終わり良ければ
すべてよし**
三年二組担任
鈴木 朗
ご卒業おめでとうござ

ざいます。
題名の言葉は、好きな言葉の一つです
が、私は間違った解釈を使って生徒によく
話していました。途中で色々な失敗や
挫折があっても、最後には必ずうまくい
く。そうすれば、今までの苦労は報われ
る。今、卒業の時をむかえて、卒業生、そ
して保護者の皆様は、このような感慨を
もたれているのではないのでしょうか。
これからも、必ず最後には笑顔になれ
る日がきつと来ることを信じて、前進す
ることを願っています。



卒業おめでとう
三年三組担任
本間 亮
ご家族の皆様、生徒

のみなさん、ご卒業お
めでとうございます。高校の三年間はあ
つという間でしたが、みなさんの若さと
可能性に驚かされることが多い日々でし
た。学習活動や部活動、行事を通し、
大人にグッと近づく成長を見せてくれま
した。ほとんどの生徒は生まれ育った地
を離れるわけですが、内に秘めている無
限の可能性を引き出す努力を積み重ね、
次のステージで活躍してくれることを期
待しています。



二手目...
三年四組担任
池田 努
将棋のプロ棋士では、

指す人が減っている手のようですが、将
棋愛好家の間では「格調が高い」、「威
厳がある」とか「王者の一手」と言わ
れているようです。詳しくは分かりませ
んが、現研究段階ではある戦型において、
厳しい闘いを覚悟した一手であることは
確かなようです。高校卒業はいわば、
人生の二手目にあたります。これから
生徒たちがどんな手を選ぶのか楽しみに
しています。ぜひとも格調高い道を選ん
でほしいと願うばかりです。
ご卒業おめでとうございます。

肩の力を抜いていれば…

三年五組担任
谷藤 未来

新一年生と向き合う期待よりも、担任を三年間続けることに対する不安の方が大きかった三年前。今にして思えば、あの頃の私は、四時路を前に余計な力が入っていた。短時間のSHRに思いが空回り。日本語として変な表現や嘔みまくりは日常茶飯事。そんな担任と暖かな気持ちでつきあってくれた生徒に感謝。困った担任に言いたかったことは後々聞こう。まずは、新たな道で頑張れ！卒業後の活躍の知らせを楽しみにしています。

自分を尊敬する

三年六組担任
布施 弘好

チェの言葉の中に「初めの一步は自分への尊敬から」という一節がある。自分を尊敬すれば、軽率なことが出来なくなり、生き方が変わり、理想に近い人間になるそうである。自分を尊敬することは照れ臭いですが、これからの長い人生、自分の可能性を大きく開拓してほしいと願っています。そして将来どこかで、より成長したみんなに会えることを楽しみにしています。三年間支えて頂きました保護者の皆さまありがとうございます。

みんなのパワー

三年七組担任
今崎 絵理

私にとって、初めての担任でした。ずっとずっと待ちわびて、ようやく出会えたのだというのを、今になって実感しています。三年間ハラハラ・ドキドキ・マグマグの連続で、うまくいかないこともたくさんありました。しかし、様々な場面で、みなさんの成長を見ることができたことが何よりも嬉しく、また私のパワーにもなっていました。これからも、多くの人にパワーを与えられる存在でいてください。三年間、ありがとうございます！

やはり〇〇が一番

三年八組担任
松田 大樹

卒業おめでとうございませう。本校で三回連続の担任ができること喜んでいたあの頃からはや三年、あつという間でした。思えば、みんなが入学早々の五月に心筋梗塞を発症し、もう担任は無理かあ（ソフトボールも無理かあ）と寂しく、悔しい思いになったあの時を思うと、今日この日まで無事に辿り着いたことを本当に嬉しく感じます。保護者のみなさまにも多大なご心配やご配慮をいただきました。感謝いたします。さて、懲りもせず狙うは四回目か!?

三年間を土台として

三年次付
高橋 京子

曲を演奏する時、旋律がきちんと上にのれるように、それを支える和音や伴奏のリズムがしっかりしていることが大切です。いくら旋律だけ美しく吹いてもその土台となる部分がぐらぐらしては豊かな音楽は響きません。皆さんは中央高校での三年間でしっかりと土台をつくってきたはずですから、これからはその上に一人一人の旋律をのせ豊かな響きをつくり上げていってください。ご卒業おめでとうございませう。

卒業おめでとう

三年次付
石川 いずみ

課題研究発表会の「未完」の木を見た時、「小さな完成より大きな未完成」という高校時代の部活の目標を思い出した。大人になっても親になっても、大切な目標の一つである。命以外はやり直しのきく人生、大いに楽しみ冒険してほしい。高校卒業というのを「未完」の木で表すと、どこまで成長したのだろう。これからは、たくさんのお礼を吸収し、大きく育ててほしい。そして、いつかどこかで「おいしい実」の報告を楽しみにしています。

新たな一歩

三年次付
齋藤 裕子

ご卒業おめでとうございます。一年間という短い間でしたが、いろいろな出会いと想い出をいただきました。ありがとうございます。授業で見せるひたむきな姿、掃除やSHR等での元気な笑顔や冗談、部活動では闘志に燃えた目など、その時々で切り換えのできる三年生だったと思います。その一生懸命に取り組む力は、これから新たな一歩を踏み出すためにもとても大切なことだと思います。悔いのない素敵な人生を送ってください!!

卒業おめでとう

三年次付
新垣 小矢加

ご卒業おめでとうございます。三年間を振り返ると、楽しかったこと、苦しかったこと…たくさん思い出されると思います。今、みなさんがこの場にいたのも家族や友達など多くの人の支えがあったからだと思います。この出会いを大切に。「いちゃりばちよーでー」（沖縄の方言で「人間は縁があつて一度出会えばみな兄弟だ」という意味。）これからの出会いも大切に、それぞれ新しい世界に突き進んでほしいと思います。

激励会

合格



「初の全国大会」

つやひめガールズ代表者
3年6組 真田 彩華

私達は福井県で行われた、全国高校生食育王選手権大会に出場してきました。この日のために、放課後の時間を使い、「ごはんがおいしい！日本のふるさと郷理」というテーマのもと、山形県の食材を使った郷土料理を練習してきました。当日、会場では各ブロック代表が、美味しい郷土料理を練習してきました。そうなるレベルの高い料理を作っていて、高校生とは思えないほどでした。私達もお互いに励まし合いながら、最後まで頑張ってきました。上位には入れませんが、良い経験ができたので、これをバネに進学してからも頑張っていきます。

平成22年度田川地区
高等学校PTA連合会
広報紙コンクール

田川地区
第1位



ホームページ リニューアル

★ 昨年度に引き続き、今年度も制作会社の協力を得て、ホームページのリニューアルに取り組みました。
★ 変更点は、これまでのホームページの内容を各項目の窓を設けて整理し、より興味・関心を引き立たせる内容にしたことです。生徒への緊急連絡について、トップページに目立つように表示するなど活用しやすい工夫がなされており、これからも、生徒の学校生活の状況をリアルタイムに発信して行きたいと考えています。

平成22年度 課題研究発表会

展示部門 12月22日(水)～26日(日)

鶴岡アートフォーラム
美術・デザイン系列作品展〈第7回〉



編集後記

№09「時代は中央」いかがでしたでしょうか。
今年度から、これまでの広報紙(黎明・時代は中央)を「時代は中央」に統合しました。生徒の活躍、学校行事、PTA活動など、中央高校の様子を保護者や高校関係、更には中央高校を目指す中学生と多くの方々にお知らせすることができました。発行にあたり広報部員をはじめ、多くの方々よりご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。(大八木茂樹)

★ホームページも一新！是非ご覧下さい★